

総務常任委員会

平成28年度幸手市一般会計補正予算 (第1号) (議案第51号)

問 地方創生加速化交付金の申請に至った経緯と内容は。

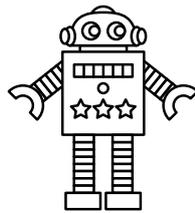
答 埼玉県企画財政部地域政策課から、本年の1月22日付けで1次募集の通知があり、3月18日に結果が記者発表され不採択になったが、4月8日付けの文書で2次募集の通知が埼玉県から各市町村に出されたため、庁内検討を行って決定したものである。

まず、4月26日までに事業の素案を作成して、国からアドバイスももらえる事前相談の機会を得て本申請を6月10日にしたので、今申請をしている段階の状況である。その決定については、具体的な日時は示されていないが、1次募集のときのことを踏まえると、約1ヶ月後に分かる想定である。また、交付金の補助率は10分の10である。

問 おもちゃドクター謝礼について

て、おもちゃドクターは、ボランティアで行っているのか、それとも市で補助金を出しているのか。

答 現在の定期的な活動は、児童館で毎月第4土曜日の午後1時から4時まで、ボランティアで行っている。



問 おもちゃドクターが地方創生加速化事業として採用された場合、単年度で終わるのか。

答 今回のこの地方創生加速化交付金については、取り組みのためのかきかけづくりである。実際に採択された時には、事業を行っていく中で継続性を見出して、発展させていきたい。

ボランティア等で手伝ってもらえるのか、あるいは今度は活動時間が増えるので、その増えた部分については報償を払っていくかは今後の中で協議していく。

問 地方創生加速化事業の考え方は。

答 今回の加速化交付金について発端は行政が取っかかりになると思うが、やがてその自治体の事業主体になってくる民間事業者なりが自立して継続的にやっていかなければならない。補助金なしで自立的にやっていくというのを踏まえたものなので、今回の事業の観光資源については、何か新しい食材を開発し、何かグルメ、食というものを一旦は行政で仕掛けるが、それが市内に定着し、幸手市の中の回遊性、町内の中に食というものでお客を呼び込めるぐらいになるようなことを想定している。



問 第19節負担金のうちの幸手宿うまいもんまつり事業補助金について、補助団体はどこか。

答 幸手宿うまいもんまつり事業を実施する団体と考えている。

子育てについても、ボランティアの育成から始まり、おもちゃドクター等を養成して、民間でも子育ての体制を町ぐるみでとれるようなものを目指していきたい。

問 おもちゃ広場とは。

答 良いおもちゃに触れる場と時間を提供することを目的として、児童館やウエルス幸手に開催する予定である。認定NPO法人の日本グッド・トイ委員会の協力を得ながら、委託で行う。

問 木のおもちゃをメインに考えているのか。

答 木育という木のおもちゃに多く触れてもらうことを考えている。



文教厚生常任委員会

幸手市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
(議案第48号)

問 この改正は、建物4階以上に保育室を設ける際の、避難用の室内階段の用件を改正するものであるが、市内には該当する保育室はあるのか。

答 市内には、建物4階以上の保育室はない。

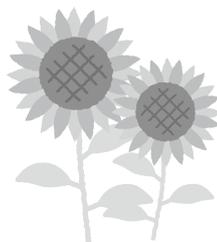
問 ^{*}小規模保育事業所A型とB型の違いは。

答 A型は保育所の職員の全てが保育士で、B型は保育所の職員の2分の1以上が保育士と決められている。

問 市内には、A型とB型の小規模保育事業所はあるのか。

答 A型は今年4月に1か所開設され、B型はない。

※小規模保育事業所とは、0〜3歳未満児を対象とした、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育。



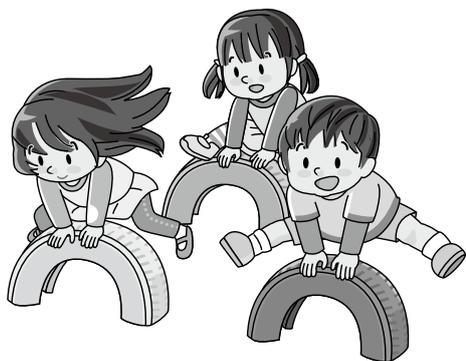
工事請負契約の締結について (議案第49号)

(第二保育所建設工事)

問 入札の際、事前に最低制限価格が分かっているならば、もっと競争の原理が働いて、競争した結果が出たのでは。

答 今回の入札は事前公表となり、ほとんど事業所が最低制限価格で応札し、くじ引きとなった。

これが事後公表となれば、場合により、1回目入札で決まらない可能性や落札額が最低制限価格よりも上回る可能性があったと考えている。



問 今回の電子入札システムへの入力について、今後に向けて検討や精査したことは。

答 1月から要綱が施行となり、今回の幸手小学校と第二保育所が第1号という認識があり、担当課は事前に準備を進めていたが、マニュアルが読み切れなかった。なぜだめだったのか検証をきちんとした上で、その原因がわかり、今後ミスがないように、マニュアルに手書で注意事項を付加するよう指示した。

工事請負契約の締結について (議案第50号)

(幸手小学校校舎大規模改修工事)

問 幸手小学校では以前に、トイレを和式から洋式への改修工事を実施しているが、今回の工事との関係は。

答 今回の工事は、トイレの天井、壁の張り替え、床を乾式にして衛生的な床に張り替える。その他大部分を洋式便器に変更する。



問 この入札に関する問題の性質、および対処の仕方については議案第49号と同じか。

答 成り立ちは先ほどの第49号と全く同様である。また、同様に対応していきたい。